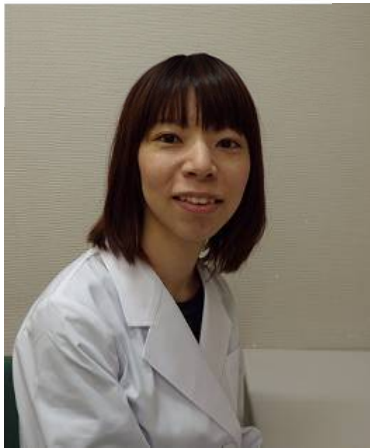




新しい先生の紹介

平成26年5月1日発行
馬 誌 眼 科

中山 真紀子(なかやま まきこ)医師



【担当曜日】 土曜日
【出身地】 神奈川県
【出身大学】 藤田保健衛生大学
【趣味】 旅行

【患者さまへひと言】
患者さま一人一人の立場に立った医療ができるように心掛けています。
よろしくお願い致します。

ここで突然ですが…
「うまとび」の由来をご存知ですか？



当初、発行していた院内報は「UMAZUME」でした。
平成9年4月 現在の場所に移転したのを機に「うまとび」と名前を改めて発行されました。

「うまとび」は「馬誌」の馬にちなんで、馬跳びを一つずつ飛び越えていくように、当院も少しずつ進歩し続けていきたいとの思いを込めてスタッフが考えたものです。さまざまな視点からの情報を患者さんにお届けして楽しんでいただくことを目標にしています。
今後も「うまとび」をよろしくお願いいたします。



院内報「うまとび」の由来とは？



～看護より～

よくある質問 Q&A

- Q. 診察しないで、薬だけもらえないの？
A. もらえません。



これは厚生労働省で決められており、『医師法』で「医師が患者さんと対面で診察をしなければ、処方箋を発行する事はできない」と定められているからです。ただし、どうしても本人が来院できず、家族が代理で来院した場合には、「医師が家族と対面し病状を聞いた上ならば、処方箋の発行を認める」とされています。処方されている薬によっては、必ず診察が必要なものもあります。又、当院では **薬のみ可の場合でも、診察は3ヶ月毎に必要です。** 症状に変わりがある場合や、普段と違う薬をご希望の場合も、診察が必要です。

～検査より～



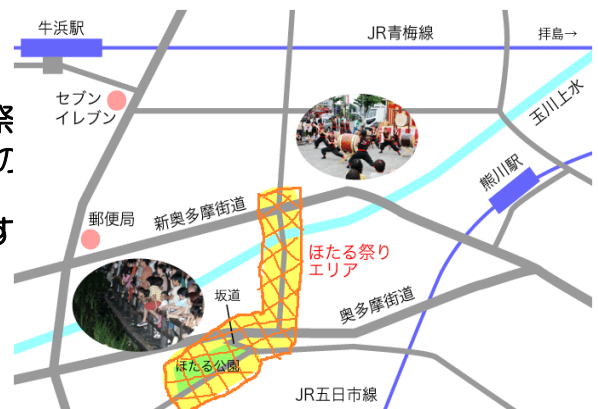
「眼底カメラ」とは眼底(目の奥)の状態を撮影するための機器です。肉眼で血管を見ることができるのは、体の中でも眼底だけです。撮影することによって客観的に網膜や視神経の状態を見ることができ、また画像として保存することができます。それにより病気の進行状態、治療の経過などを説明するときにも役立ちます。

～事務より～

毎年恒例、福生に初夏の訪れを告げる「福生ほたる祭」福生ホテル研究会により大切に育てられた約500匹のゲンジボタルが優雅に舞い光を放ちます。また、会場周辺には模擬店が並び、催物も行われます

<福生市観光協会>

<http://www.fussakanko.jp/pa0206.html>



※網掛け部分が「ほたる祭り」エリア

◆編集後記◆

過ごしやすい気候になってきました。
近場への小旅行を楽しみたいと思います。
(須永)

発行・編集 馬詰眼科

〒197-0023 東京都福生市志茂224-1 Tel: 042-553-952
うまとび編集担当/齋藤美穂・松沢・小嶺・齋藤美由紀・須永・外川

